

**製品名: PRKX ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab16500**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	41kDa

**抗原情報**

遺伝子名	PRKX
別名	PRKX; PKX1; cAMP-dependent protein kinase catalytic subunit PRKX; PrKX; Protein kinase X; Protein kinase X-linked; Serine/threonine-protein kinase PRKX; Protein kinase PKX1
遺伝子 ID	5613.0
SwissProt ID	P51817
免疫原	抗血清はヒト PRKX 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 251-300

**背景**

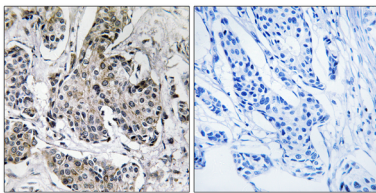
この遺伝子は、環状 AMP 依存性プロテインキナーゼの触媒サブユニットと類似性を持つセリン・スレオニンプロテインキナーゼを

コードしています。コードされているタンパク質は発生的に制御されており、腎上皮の形態形成に関与している可能性があります。また、このタンパク質はマクロファージおよび顆粒球の成熟にも関与している可能性があります。この遺伝子と Y 染色体上の関連偽遺伝子との間の異常な組み換えは、XX 男性および XY 女性における性転換疾患の頻繁な原因です。この遺伝子の偽遺伝子は、X 染色体、15 染色体、および Y 染色体上に存在します。[RefSeq 提供、2010 年 2 月]、触媒活性: ATP + タンパク質 = ADP + リン酸化タンパク質。、疾患: PRKX に関連する染色体異常は、性転換疾患の原因です。PRKY を伴う転座 t(X;Y)(p22;p11)。PRKY 近位の染色体転座は、XX 男性および XY 女性における性転換疾患の約 30% を占める。、類似性: タンパク質キナーゼスーパーファミリーに属します。AGC Ser/Thr タンパク質キナーゼファミリー。cAMP サブファミリー。、類似性: 1 つの AGC キナーゼ C 末端ドメインを含みます。、類似性: 1 つのタンパク質キナーゼドメインを含みます。、組織特異性: 成人および胎児の脳、腎臓、肺で高レベル; 成人の胎盤、心臓、肝臓、骨格筋、膵臓、胎児の肝臓で低レベル。、

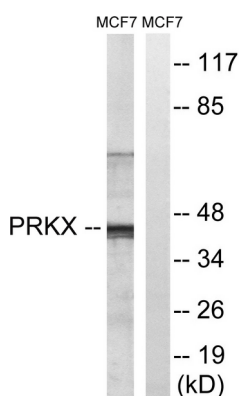
## 研究分野

MAPK\_ERK\_成長;MAPK\_G\_タンパク質;カルシウム;ケモカイン;卵母細胞減数分裂;アポトーシス抑制;ミトコンドリアアポトーシス;アポトーシスの概要;血管平滑筋収縮;WNT;WNT-T 細胞ヘッジホッグ;ギャップ結合;長期増強;嗅覚伝達;味覚伝達;インスリン受容体;GnRH;プロゲステロン媒介卵母細胞成熟;メラニン形成;プリオン病;コレラ菌感染症;拡張型心筋症;

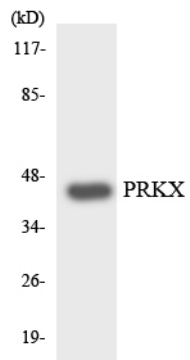
## 画像データ



PRKX 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト乳癌組織の免疫組織化学染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした状態。



PRKX 抗体を用いた MCF-7 細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。



PRKX 抗体を使用した HepG2 細胞の溶解物のウエスタンブロット分析。